

■「草津市障害者計画（後期計画）」の進捗状況（期待未満の成果であった事業）

資料 3 - 3

区分	主な事業	担当課	H26事業実績	H27事業計画	H27事業実績	評価	評価理由	H28事業計画
廃止	防火点検と防火意識の向上に向けた訪問指導	危機管理課	草津市消防団（女性消防団員）がひとり暮らし宅を訪問し、住居の防火点検指導を行いました。	草津市消防団（女性消防団員）がひとり暮らし宅を訪問し、住居の防火点検指導を行うことと併せて、交換時期（概ね10年）となる住宅用火災警報器の設置など支援要請に対し対応します。	草津市消防団（女性消防団員）による防火訪問実績はありませんでした。なお、交換時期（概ね10年）となる住宅用火災警報器の設置など支援要請に対応しました。	△	防火訪問・住宅用火災警報器の設置支援は、高齢者を対象とした事業であり、障害者への訪問実績はありませんでした。	障害者に特化した事業ではないため、廃止とします。
継続	ボランティアセンターの活用促進	社会福祉協議会	○市ボランティアセンター事業 ボランティアの受給調整をすることで、社会福祉施設等へのボランティアの紹介や情報提供をし、実践の場を提供しました。 ・登録ボランティア：個人22人、309団体4,793人（H27.3月末現在） ・年間受給調整数：78件（H27.3月末現在） ○ボランティア情報紙「よみ～な」発行 市ボランティアセンターの啓発、ボランティア活動の支援や情報提供を充実して、年2回発行しました。活動助成金の案内やボランティア募集、社協事業紹介等、内容の充実を図りました。ボランティアセンター登録グループや市内福祉施設、学区社協、民児協、各関係施設等に配布しました。	○市ボランティアセンター事業 ボランティアの受給調整をすることで、社会福祉施設等へのボランティアの紹介や情報提供をし、実践の場を提供します。 ○ボランティア情報紙「よみ～な」発行 今年度のテーマを「ボランティアさんが得る情報紙」とし、活動に役立つ情報やコラム等を掲載し、年3回発行します。	○市ボランティアセンター事業 ボランティアの受給調整をすることで、社会福祉施設等へのボランティアの紹介や情報提供をし、実践の場を提供しました。 ・登録ボランティア：個人15人、319団体5,052人（H28.3月末現在） ・年間受給調整数：89件（H28.3月末現在） ○ボランティア情報紙「よみ～な」発行 市ボランティアセンターの啓発、ボランティア活動の支援や情報提供を充実して、年3回発行しました。うち1回はボランティアフェスティバルの号外として発行しました。活動助成金の案内や活動に役立つコラムの掲載、ボランティア募集、社協事業紹介等、活動に役立つ内容の充実を図りました。ボランティアセンター登録グループや市内福祉施設、学区社協、民児協、各関係施設等に配布しました。	△	ボランティア情報紙「よみ～な」は年3回発行したものの、ボランティアの方々からの反響が得られていないので、さらに内容を充実したものに変えていく必要があります。	○市ボランティアセンター事業 ボランティアの受給調整をすることで、社会福祉施設等へのボランティアの紹介や情報提供をし、実践の場を提供します。 ○ボランティア情報紙「よみ～な」発行 活動に役立つ情報やコラム等を掲載し、昨年度よりさらに内容を充実させ、年3回発行します。
継続	ピアカウンセリング・ピアサポート（仲間同士の支え合い）の充実	障害福祉課	障害者福祉センターにおいて、発達障害者を主な対象者として障害者等の自己信頼の回復と人間関係の再構築を図り、自立生活をサポートするため、同じ障害のあるカウンセラーがカウンセリングを行いました。 ・利用回数 12回	3障害と発達障害者等を対象として、障害者等の自己信頼の回復と人間関係の再構築を図り、自立生活をサポートするため、同じ疾病や障害がある障害者や家族が日ごろの悩み等を話しあえる場としてピアサロンの設置を検討します。	障害者福祉センターにおいて、ピアカウンセラーを育成するために「ピアカウンセラー養成講座」を実施しました。 ・開催回数 4回	△	ピアカウンセリングを行うピアカウンセラーが不足し、ピアサロンの設置が困難であったため、ピアカウンセラーの養成講座を実施し、ピアカウンセラーを育成しました。	引き続き障害者福祉センターにおいて、ピアカウンセラーを育成するために「ピアカウンセラー養成講座」を実施します。
継続	公営住宅の特定目的入居制度の活用検討	住宅課	○特定目的住戸入居者募集 ・募集住戸 0戸	○特定目的住戸入居者募集 特定目的住戸に空きが出た場合、修繕を行い、入居者を募集します。	○特定目的住戸入居者募集 ・募集住戸 0戸	△	○特定目的住戸入居者募集 特定目的住戸（車イス対応住戸）に空きが無く、新たな募集が行えませんでした。	○特定目的住戸入居者募集 新陽ノ丘団地の車イス対応住戸について、新たな入居者の募集を行います。 ・募集住戸 3戸
継続	手話通訳者の配置の充実	障害福祉課	聴覚障害者のコミュニケーションの確保を図るため、市の窓口到手話通訳者1名を設置しました。	聴覚障害者のコミュニケーションの確保を図るため、市の窓口到手話通訳者2名を設置します。	聴覚障害者のコミュニケーションの確保を図るため、市の窓口到手話通訳者1名を設置しました。	△	募集をしましたが応募がなく2名を設置することはできませんでしたが、手話通訳者による手話のほか筆談などコミュニケーションの確保を図りました。	聴覚障害者のコミュニケーションの確保を図るため、市の窓口到手話通訳者2名を設置します。